

---

第4次伊豆の国市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

# 実施状況報告書

（令和4年度報告）

---

令和5年9月

伊豆の国市

# 目次

I	計画の概要	
1	計画の基本的事項	1
2	計画の期間・目標	1
3	目標達成に向けた取組	1
II	2022(令和4)年度の温室効果ガス排出状況	
1	温室効果ガス排出量	2
2	ガス別・部門別の温室効果ガス排出量	2
3	活動量	4
III	2022(令和4)年度の実施状況【エコアクション21取組報告】	
1	実施状況の概要	5
2	財やサービスの購入における取組	5
3	財やサービスの使用における取組	6
4	廃棄物の減量・再資源化における取組	7
IV	数値資料(参考)	
1	第4次計画と第3次計画の対象範囲について	8
2	第3次計画の旧算定による数値結果(参考)	8

注：本文中の数量・割合については四捨五入により計が合致しない場合や、  
構成比の計が100%にならない場合があります

# I 計画の概要

## 1 計画の基本的事項

目的	○ 本市が実施する事務・事業に伴い排出される温室効果ガス排出量を削減するとともに、市民・事業者の自主的かつ積極的な温室効果ガス排出削減のための行動を促すことを目的とする
位置付け	○ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 21 条に基づく法定計画
対象ガス	○ 二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )、メタン(CH <sub>4</sub> )、一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)の4ガス
対象範囲	○ 伊豆の国市役所が行うすべての事務事業 ※長岡清掃センター・韮山ごみ焼却場における廃棄物の焼却は、伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合への移行により、2022 年 12 月までの稼働のため、第 4 次計画の対象施設から除外

## 2 計画の期間・目標

計画期間	2022(令和 4)年度から 2030(令和 12)年度までの 9 年間		
基準年度	2013(平成 25)年度	目標年度	短期目標:2026(令和 8)年度 中期目標:2030(令和 12)年度
温室効果ガス排出量の削減目標	●短期目標(2026(令和 8)年度):2013(平成 25)年度比 <b>39.3%削減</b> ※ ●中期目標(2030(令和 12)年度):2013(平成 25)年度比 <b>46.6%削減</b>		

※計画本編 P22「表 17 活動量の削減目標」、P23「表 18 温室効果ガス排出量の削減目標」の数値の誤りを訂正 P24「温室効果ガス排出量の削減目標」2026(R8)年度短期目標を 2013(H25)年度比 39.2%削減から 39.3%削減に訂正しました。

部 門		2026(R8)短期目標		2030(R12)中期目標	
		削減率	設定の考え方	削減率	設定の考え方
燃料の使用 (公共施設等)	灯油、軽油、A 重油、 液化石油ガス(LPG)	2020 年度比 -6%	省エネ法の判断 基準(年平均 1% 以上削減×6 年) から -6%で設定	2020 年度比 -10%	省エネ法の判断 基準(年平均 1% 以上削減×10 年)から -10%で設定
燃料の使用 (公用車)	ガソリン、液化石油ガ ス(LPG)、軽油				
電気の使用、自動車の走行					
し尿処理施設における下水等の処理、 浄化槽によるし尿及び雑排水の処理		0%	現状維持で設定	0%	現状維持で設定
自動車用エアコンディショナーの使用		0%	現状維持で設定	0%	現状維持で設定

## 3 目標達成に向けた取組

1 財やサービスの購入における取組	電気製品、公用車、用紙類、事務用品、その他
2 財やサービスの使用における取組	エネルギー全般、空調、照明、事務機器、昇降機、公用車、水、用紙類
3 廃棄物の減量・資源化における取組	ごみ減量化、資源化・リサイクル、フロン類
4 建築物の建築・管理における取組	全体管理、再生可能エネルギー、省エネルギー、廃棄物、水
5 その他の事務・事業における環境保全への取組	公共工事、吸収源対策、環境教育

## Ⅱ 2022(令和4)年度の温室効果ガス排出状況

### 1 温室効果ガス排出量

2022(令和4)年度における温室効果ガス排出量は5383.4t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度である2013(平成25)年度の7153.2 t-CO<sub>2</sub>と比較すると、1769.8t-CO<sub>2</sub>(基準年度比-24.7%)減少しています(図1)。

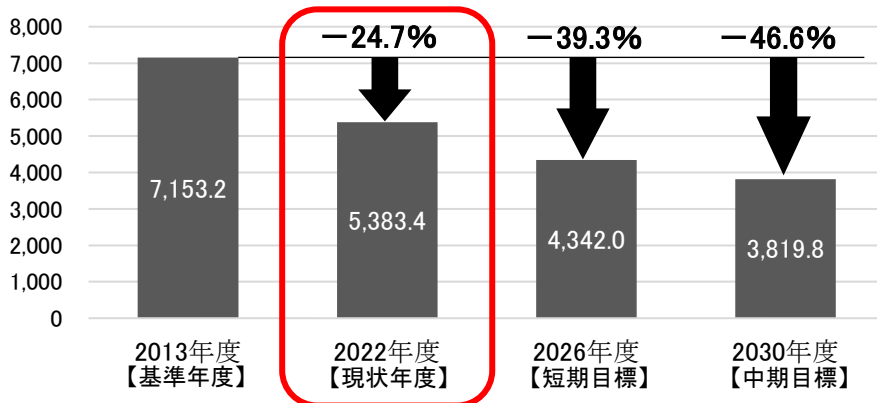
しかし、2026(令和8)年度の短期目標である温室効果ガス排出量4342.0t-CO<sub>2</sub>(基準年度比-39.3%)の目標値には、あと1041.4t-CO<sub>2</sub>(14.6%)の削減が必要です。

温室効果ガス排出量は、電気の使用による二酸化炭素排出量算出に使用する排出係数に大きく影響されますが、今後も目標達成に向けて、温室効果ガス削減に効果的な取組の推進が必要となります。

**2022年度排出量 5383.4 t-CO<sub>2</sub>・基準年度比 1769.8 t-CO<sub>2</sub> (24.7%) 削減**

**2026年度短期目標 4342.0 t-CO<sub>2</sub> まで 1041.4 t-CO<sub>2</sub> (14.6%) 削減必要**

図1 温室効果ガス排出量(単位 t-CO<sub>2</sub>)



### 2 ガス別・部門別の温室効果ガス排出量

ガス別、部門別の温室効果ガス排出量を表1に示します。

2022(令和4)年度におけるガス別排出量は、二酸化炭素が98.7%と大部分を占め、部門別では電気の使用(80.5%)が多くを占めています(図2)。

2022(令和4)年度は概ね基準年度から減少していますが、ガス別ではメタン(+3.6t-CO<sub>2</sub>:+8.5%)、一酸化二窒素(+0.2t-CO<sub>2</sub>:+0.7%)、部門別では、し尿処理施設における下水等の処理(+0.5t-CO<sub>2</sub>:+5.7%)、し尿・雑排水の処理(+4.9t-CO<sub>2</sub>:+9.7%)が増加しています。

《算定対象の温室効果ガスの種類と人為的な発生源》

ガスの種類	発生源
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	電力の使用、ガソリンや灯油等化石燃料の使用
メタン(CH <sub>4</sub> )	公用車の走行、し尿処理施設運営、浄化槽の使用
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	公用車の走行、し尿処理施設運営、浄化槽の使用
ハイドロフルオカーボン(HFC)	カーエアコンの使用

表1 ガス別・部門別の温室効果ガス排出量(単位 t-CO<sub>2</sub>)

項目			2013(H25)		2022(R4)				2026(R8)	
			基準年度		現状年度		基準年度からの推移		短期目標	
			排出量	構成比	排出量	構成比	排出量増減	基準年度比	排出量	基準年度比
<b>ガス別</b>										
CO <sub>2</sub>	二酸化炭素	公共施設等	6,793.9	-	5,149.5	-	-1,644.4	-24.2%	4,089.7	-39.8%
		公用車	292.0	-	162.9	-	-129.1	-44.2%	182.3	-37.6%
		小計	7,085.9	99.1%	5,312.4	98.7%	-1,773.5	-25.0%	4,272.1	-39.7%
CH <sub>4</sub>	メタン	42.2	0.6%	45.8	0.8%	3.6	8.5%	44.9	6.4%	
N <sub>2</sub> O	一酸化二窒素	23.0	0.3%	23.2	0.4%	0.2	0.7%	22.2	-3.2%	
HFC	ハイドロフルオロカーボン	2.2	0.0%	2.0	0.0%	-0.2	-8.4%	2.0	-9.7%	
<b>部門別</b>										
CO <sub>2</sub>	燃料の使用 (公共施設等)	灯油	542.0	7.6%	433.7	8.1%	-108.3	-20.0%	219.8	-59.4%
		軽油	0.8	0.0%	0.1	0.0%	-0.7	-87.1%	0.0	-100.0%
		A重油	7.0	0.1%	0.0	0.0%	-7.0	-100.0%	0.0	-100.0%
		液化石油ガス(LPG)	428.5	6.0%	380.4	7.1%	-48.1	-11.2%	327.4	-23.6%
	燃料の使用 (公用車)	ガソリン	122.8	1.7%	81.7	1.5%	-41.1	-33.5%	78.9	-35.7%
		液化石油ガス(LPG)	0.6	0.0%	0.0	0.0%	-0.6	-100.0%	0.8	45.2%
		軽油	168.6	2.4%	81.2	1.5%	-87.4	-51.9%	102.6	-39.2%
電気の使用		5,815.5	81.3%	4,335.3	80.5%	-1,480.2	-25.5%	3,542.5	-39.1%	
CH <sub>4</sub> ・ N <sub>2</sub> O	自動車の走行		4.9	0.1%	3.4	0.1%	-1.5	-30.2%	2.9	-42.4%
	し尿処理施設における下水等の処理		9.2	0.1%	9.7	0.2%	0.5	5.7%	9.6	4.5%
	し尿・雑排水の処理		50.9	0.7%	55.8	1.0%	4.9	9.7%	54.6	7.2%
HFC	自動車用エアコンの使用		2.2	0.0%	2.0	0.0%	-0.2	-8.4%	2.0	-9.7%
合計			7,153.2	-	5,383.4	-	-1,769.8	-24.74%	4,341.1	-39.31%

注) 四捨五入処理のため合計が100%にならないことがある。

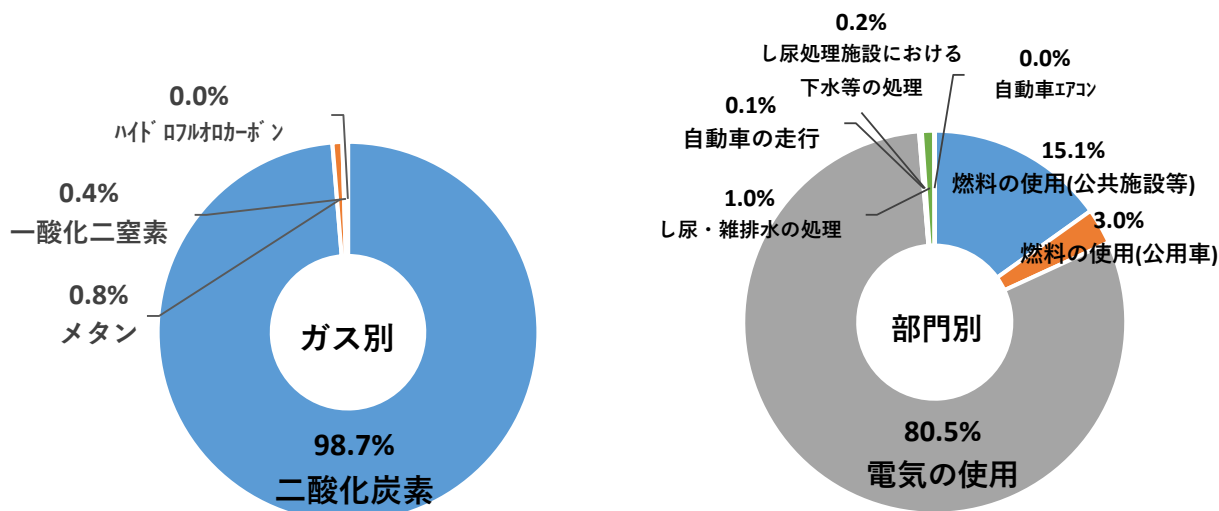


図2 ガス別・部門別の温室効果ガス排出量の割合

### 3 活動量

2022(令和4)年度における活動量を表2に示します。

表2 活動量

項目		単位	2013(H25)	2022(R4)				2026(R8)	
			基準年度	現状年度	基準年度からの推移		短期目標		
			活動量	活動量	活動量増減	基準年度比	活動量	基準年度比	
燃料の使用	公共施設等	灯油	L	217,671.7	174,185.0	-43,486.7	-20.0%	88,289.5	-59.4%
		軽油	L	315.0	40.0	-275.0	-87.3%	0.0	-100.0%
		A重油	L	2,600.0	0.0	-2,600.0	-100.0%	0.0	-100.0%
		液化石油ガス(LPG)	kg	142,841.4	126,808.6	-16,032.8	-11.2%	109,132.1	-23.6%
	公用車	ガソリン	L	52,935.0	35,214.3	-17,720.7	-33.5%	34,016.0	-35.7%
		液化石油ガス(LPG)	kg	184.5	0.0	-184.5	-100.0%	267.9	45.2%
		軽油	L	65,353.9	31,460.1	-33,893.8	-51.9%	39,766.7	-39.2%
電気の使用	電気	kWh	10,951,992.7	9,486,330.0	-1,465,662.7	-13.4%	9,574,355.9	-12.6%	
自動車の走行	ガソリン・LPG自動車	km	400,189	389,514	-10,675	-2.7%	437,066.2	-41.1%	
	ディーゼル(軽油)自動車	km	297,462	127,428	-170,034	-57.2%			
	ハイブリッド自動車	km	44,853	27,718	-17,135	-38.2%			
し尿処理施設における下水等の処理	し尿処理施設	m <sup>3</sup>	7,521	7,928	407	5.4%	7,862	4.5%	
浄化槽によるし尿及び雑排水の処理	浄化槽人槽	人	2,358	2,584	226	9.6%	2,527	7.2%	
自動車用エアコン・デিশヨナーの使用	カーエアコン台数	台	154	141	-13	-8.4%	139	-9.7%	

# Ⅲ 2022(令和4)年度の取組実施状況

## 1 実施状況の概要

2022(令和4)年度の市の事務事業における温室効果ガス削減目標を達成するための取組は、エコアクション21及び、第4次伊豆の国市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の方針に従って実施しました。特にグリーン購入の推進、エネルギー使用量の削減等の取組の推進に注力いたしました。

今後は、再生可能エネルギーの利用や排出係数の低い電力の購入、省エネ設備や電気自動車等の導入について検討していくことが必要であると考えています。

## 2 財やサービスの購入における取組

2022(令和4)年度におけるグリーン購入の実績は表3及び表4のとおりです。

2022(令和4)年度においても、環境に配慮した物品の調達(グリーン購入)の推進をしました。この結果、目標レベル1の物品は全体で69.2%(前年度70.0%)、目標レベル2の物品は全体で78.1%(前年度60.2%)の購入率となりました。目標レベル1の購入率は前年度と概ね変わりませんが、目標レベル2の購入率は向上しています。引き続き、グリーン購入法適合品の購入を推進していきます。

表3 2022年度グリーン購入状況(目標レベル1の物品)

分野	分野別購入金額実績		
	全購入金額(円)	グリーン購入金額(円)	グリーン購入率(%)
コピー紙類	6,973,774	6,496,568	93.2%
トイレ紙類	1,295,995	1,052,096	81.2%
文具(筆記用具、のり等)	5,977,383	4,189,035	70.1%
OA機器等	6,508,481	2,593,985	39.9%
乾電池	219,738	201,453	91.7%
家電製品	110,044	64,994	59.1%
照明器具等	1,120,169	297,810	26.6%
インテリア用品(机、椅子等)	666,157	442,033	66.4%
公用自動車	0	0	-
広報誌	1,729,094	1,694,000	98.0%
太陽光発電システム等その他設備	0	0	-
合計	24,600,835	17,031,974	69.2%

表4 2022年度グリーン購入状況(目標レベル2の物品)

分野	分野別購入金額実績		
	全購入金額(円)	グリーン購入金額(円)	グリーン購入率(%)
文具類(封筒等)	1,705,316	1,388,946	81.4%
照明器具(電球形状ランプ)	28,864	28,864	100.0%
インテリア用品(カーテン等)	266,580	144,480	54.2%
作業手袋	104,694	97,591	93.2%
その他繊維製品(テント等)	111,643	71,965	64.5%
合計	2,217,097	1,731,846	78.1%

資料：令和4年度エコアクション21グリーン購入チェック票集計

### 3 財やサービスの使用における取組

市の事務事業を行うに当たっては、電気、ガス、灯油、水道などのエネルギーを直接的に使用します。2022(令和4)年度においては、これらのエネルギーの使用に際して、省エネルギーを心がけ、使用を削減するために事務事業の効率化に努め、適正な管理を行いました。

#### 【水の使用】

2022(令和4)年度の水の使用量は、表5のとおりです。前年度との比較では、12.0%の増加となっています。コロナ禍から通常の活動が再開されてきたことで、水の使用量が増加したものと考えられます。しかし、コロナ禍以前と比較すると、使用量は減少していることから、職員による節水の努力の結果が出ているものと考えられます。

表5 水の使用量

区分	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
使用量(m <sup>3</sup> )	188,031.6	179,413.5	125,483.0	141,427.0	158,347.0
前年度増減率(%)	-5.1	-4.6	-30.1	12.7	12.0

資料：令和4年度エコアクション21 エネルギー・資源消費調査票集計

#### 【エネルギーの使用】

2022(令和4)年度の電気、ガス、灯油等の使用量は、前述の表2「活動量」のとおりとなっています。なお、エネルギー使用量の削減のため、2022(令和4)年度において、次のような取組を実施しました。

- クールビズの実施【期間 2022(令和4)年5月1日から同年10月31日まで】
- ウォームビズの実施【期間 2022(令和4)年11月1日から2023(令和5)年3月31日まで】
- 事務機器の節電・待機モードの活用
- エコドライブ、相乗りの推奨
- リモート（オンライン）会議を取り入れることによる公用車による移動の削減



## 4 廃棄物の減量・再資源化における取組

2022(令和4)年度の廃棄物の排出量は、表6のとおりです。

本市では、廃棄物を未利用資源と捉え、再使用、再資源化を推進することで、廃棄物の減量化を推進してまいりましたが、総排出量は前年度比で16.2%増加する結果となりました。コロナ禍からの行政活動の再開がその要因であると考えられることから、今後は職員への廃棄物削減に対する意識を改めて浸透させることで、ごみ減量に努めていくこととしています。

表6 廃棄物の排出量

区分等		2021(R3) (kg)	2022(R4) (kg)	前年増減率 (%)
印刷済コピー用紙	A	47.60	0.00	-100.0%
新聞、雑誌、段ボール及び紙パック	B	5,781.55	5,373.19	-7.1%
その他の紙	C	132.78	182.26	37.3%
燃やせるごみ	D	66,620.71	79,582.84	19.5%
発泡スチロールトレイ	E	8.60	0.00	-100.0%
プラスチック容器包装	F	3,440.47	3,579.96	4.1%
その他プラスチック類	G	971.86	1,067.35	9.8%
アルミ缶、スチール缶	H	617.96	671.18	8.6%
その他金属	I	400.83	411.56	2.7%
びん類	J	200.47	177.27	-11.6%
板ガラス、セトモノ等のリサイクルできないもの	K	96.47	86.73	-10.1%
ペットボトル	L	276.29	353.66	28.0%
粗大ごみ	M	9.20	107.33	1066.6%
その他1(乾電池等) ※R4集計無し	N	151.20	-	-
その他2(蛍光灯等) ※R4集計無し	O	35.40	-	-
合計		78,791.39	91,593.32	16.2%
文書整理等による溶解ごみ	P	63,500.00	58,530.00	-7.8%
農土香に搬入される食品残渣	Q	11,260.57	18,936.10	68.2%
紙類のうちリサイクルされるもの	A+B+C=①	5,961.93	5,555.45	-6.8%
焼却等によって廃棄処理されるもの	D=②	66,620.71	79,582.84	19.5%
プラスチック類でリサイクルされるもの	E+F+G+L=③	4,697.22	5,000.96	6.5%
金属、ガラス類のうちリサイクルされるもの	H+I+J=④	1,219.26	1,260.01	3.3%
ガラス類のうち埋立て処理されるもの	K=⑤	96.47	86.73	-10.1%
素材の違いにより中間的処理がされるもの	M+O=⑥	44.60	107.33	140.7%
その他リサイクルされるもの	N=⑦	35.40	-	-
リサイクルで活用されるもの	=①+③+④+⑦	11,913.81	11,816.42	-0.8%
リサイクルで活用されるもの(P+Qを含む)	=①+③+④+⑦	88,674.38	89,282.52	0.7%
一部がリサイクルされるもの	=⑥	44.60	107.33	140.7%
最終的にごみとして廃棄されるもの	=②+⑤	66,717.18	79,669.57	19.4%

資料：令和4年度エコアクション21 廃棄物排出量記録票集計

## IV 数値資料（参考）

### 1 第4次計画と第3次計画の対象範囲について

第4次計画の対象範囲は、市が行う全ての事務・事業としていますが、長岡清掃センターと葦山ごみ焼却場における廃棄物の焼却は、伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合への移行により、2022年12月までの稼働のため、第4次計画の対象施設から除外しています。

本実施報告書「II 2022(令和4)年度の温室効果ガス排出状況」における報告数値は、第4次計画の対象範囲から算定しているため、長岡清掃センターと葦山ごみ焼却場における廃棄物の焼却に対する数値は含まれていません（第4次計画の新算定）。

以下については、2022(令和4)年度中に長岡清掃センターと葦山ごみ焼却場が稼働していた期間の数値を含め、算定した結果を示します（第3次計画の旧算定、表7～表11）。

なお、国及び県等への温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の報告数値は、焼却施設が稼働していた期間の数値を含めた、第3次計画の旧算定を使用しています。

### 2 第3次計画の旧算定による数値結果（参考）

表7 エネルギー使用に伴う二酸化炭素排出量の推移（単位：t-CO<sub>2</sub>）

区 分		2018	2019	2020	2021	2022(R4)		
		(H30)	(R1)	(R29)	(R3)	排出量	前年度からの推移	
		排出量	排出量	排出量	排出量		排出量増減	増減率
電気の使用		5,746.9	5,332.8	5,178.7	5,143.0	4,832.7	-310.3	-6.0%
燃料の使用 (公共施設等)	ガス	384.6	373.9	347.6	369.7	380.4	10.7	2.9%
	灯油	466.2	428.8	336	434.1	464.0	29.9	6.9%
	軽油	0	0.7	0	0	0.1	0.1	-
	重油	17.6	18.6	27.1	0	0	0.0	-
	小計	868.4	822	710.7	803.8	844.5	40.7	5.1%
燃料の使用 (公用車)	ガソリン	128.9	119.6	84.2	85.5	82.1	-3.4	-4.0%
	軽油	165.6	160.1	109.3	100.9	99.7	-1.2	-1.2%
	ガス	0	1.6	1.9	2.1	2.4	0.3	12.3%
	小計	294.5	281.3	195.3	188.5	184.2	-4.3	-2.3%
合 計		6,909.8	6,436.1	6,084.6	6,135.3	5,861.3	-274.0	-4.5%

※各年度の排出係数を使用して計算しています。※区分ごとに四捨五入しているため、小計又は合計が一致しない場合があります。

表8 エネルギー種類別の使用量の推移

区 分		2018	2019	2020	2021	2022(R4)	
		(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	使用量	前年度増減率
電気の使用(千kW)		12,099	11,395	11,332	11,506	10,575	-8.09%
燃料の使用 (公共施設等)	ガス(m <sup>3</sup> )	58,809	57,167	53,151	56,526	58,078	2.75%
	灯油(ℓ)	187,243	172,196	134,925	174,340	186,339	6.88%
	軽油(ℓ)	0	268	0	0	40	-
	重油(ℓ)	6,500	6,867	10,000	0	0	-
燃料の使用 (公用車)	ガソリン(ℓ)	55,547	51,532	36,295	36,856	35,388	-3.98%
	軽油(ℓ)	64,193	62,041	42,347	39,117	38,653	-1.19%
	ガス(m <sup>3</sup> )	0	240	285	320	360	12.50%

表9 エネルギー別二酸化炭素排出量の推移

区分	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
電気	5,746.9t	5,332.8t	5,178.7t	5,143.0t	4,832.7t
割合	83.2%	82.9%	85.1%	83.8%	82.5%
LPガス	384.6t	375.5t	349.5t	371.8t	382.8t
割合	5.6%	5.8%	5.7%	6.1%	6.5%
灯油	466.2t	428.8t	336.0t	434.1t	464.0t
割合	6.7%	6.7%	5.5%	7.1%	7.9%
軽油	165.6t	160.8t	109.3t	100.9t	99.8t
割合	2.4%	2.5%	1.8%	1.6%	1.7%
ガソリン	128.9t	119.6t	84.2t	85.5t	82.1t
割合	1.9%	1.9%	1.4%	1.4%	1.4%
重油	17.6t	18.6t	27.1t	0t	0t
割合	0.3%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%
合計	6,909.8t	6,436.1t	6,084.6t	6,135.3t	5,861.3t

表10 一般廃棄物焼却に伴う二酸化炭素排出量の推移（単位：t-CO<sub>2</sub>）

区分	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022(R4)	
	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	前年度 増減率
一般廃棄物焼却に由来	3,748.0	3,672.9	2,927.9	2,768.8	1,393.3	-49.7%
エネルギー使用に由来	6,909.8	6,436.1	6,084.6	6,135.3	5,861.3	-4.5%
合計	10,657.8	10,109.0	9,012.5	8,904.1	7,254.6	-18.5%

表11 エネルギー使用量（原油換算）の推移（単位：ℓ）

区分	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022(R4)		
	使用量	使用量	使用量	使用量	使用量	前年度 増減率	
電気の使用	3,112,133	2,931,053	2,914,846	2,959,560	2,720,096	-8.09%	
燃料の使用 (公共施設等)	ガス	168,029	163,339	151,864	161,504	166,200	2.91%
	灯油	177,293	163,046	127,755	165,076	176,437	6.88%
	軽油	0	261	0	0	39	-
	重油	6,557	6,927	10,088	0	0	-
	小計	351,879	333,573	289,707	326,580	342,676	4.93%
燃料の使用 (公用車)	ガソリン	49,586	46,001	32,399	32,900	31,591	-3.98%
	軽油	62,438	60,345	41,189	38,047	37,596	-1.19%
	ガス	0	686	814	914	1030	12.71%
	小計	112,024	107,032	74,402	71,861	70,217	-2.29%
合計	3,576,036	3,371,658	3,278,955	3,358,001	3,132,989	-6.70%	

※「IV 数値資料（参考）」で示した算定結果は、第3次計画の旧算定によるものであり、「II 2022(令和4)年度の温室効果ガス排出状況」に示す第4次計画の新算定とは異なるため、排出量を単純に比較することはできません。

第4次伊豆の国市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

実施状況報告書（令和4年度報告）

令和5年9月

発行	伊豆の国市市民環境部環境政策課
住所	伊豆の国市田京299番地の6
電話	0558-76-8002
FAX	0558-76-5499
Email	kan@city.izunokuni.shizuoka.jp